

福島第一原発事故から 10 年の私見 おしどりマコ・ケン講演動画 3 月公開

モントリオール KIZUNA 代表 橋爪亮子

あの事故からもうすぐ 10 年。次々起こる自然災害、社会問題、昨年からの COVID-19 に関しての世界規模の影響、そして個々の人生で直面する挑戦や喪失の中、福島第一原発事故と私たちの暮らしや未来との繋がりを見出すことは容易でない。それでも、多くの人があの事故がなかったらと今でも思うのではなかろうか。人類の歴史では一瞬でも人の一生での 10 年は長い。今の小学生には震災の記憶はない。2021 年 1 月 15 日開催の福島県「県民健康調査」委員会では事故当時 0 歳と 2 歳の女児が甲状腺がんと診断されたことが報告された。事故当時 18 歳以下の甲状腺がんの子どもは 252 人に達している。他県在住者等、ここに含まれていない人もいる。

カナダはもちろん日本でも福島県以外では福島第一原発事故と関連のニュースは少ない。新しくないし、見えづらいし、知って欲しくない人がいて、知りたくない人もいるからだろう。放射線の健康被害に不安を抱きながら生活し続ける人がおり、強制的に或いは苦渋の選択で自主的に別の土地で生活をする人がおり、様々な理由で避難先から戻った人がいる。帰宅困難区域からの避難者は 9 割弱が元の住所に住民票を置いたままだが、帰還希望者は 2 割という調査結果がある(2020 年 11 月)。もちろん、ずっと福島の地で暮らし続けている人たちも沢山いる。同時に福島に移住する人もいる。福島で新しい事業を起こす人もいる。そこに公的な経済的支援もあったりする。廃炉作業や除染作業をする人がいて、もくもくと農業をする人もいる。福島の地には、変わりなく季節が巡り、山菜も出るし、果物も実り、魚もいる。誤解を生むかもしれないが、人が自分の生き方や在り方を選ぶのに、正しさや事実など、他人が決められないと思う。

理想的すぎるのは承知しつつ個々が大切に守りたいと思うものを追及し、それを守ることが出来、在りたい自分であることが、できる限り可能な世の中で皆が生きていけたらと思う。

調査や研究結果、様々な数値(帰還者、避難者、関連死者)、福島第一原発の廃炉作業状況、処理水の太平洋放出、帰還政策、エネルギー政策や経済政治状態も、事故やその影響の全体を知る上では大切だ。ただ、私は福島原発事故が生んだ取り返しのつかない喪失と苦悩は 2 度と誰の上にも、どの土地にも起きて欲しくないという願いを持つ人々からのエネルギーが繋げる。哀しくてやさしく力強い、ゆるやかな連帯に希望を見る。それは例えば一母親が自費出版する本、事故当時 10 代の被災者だった箏奏者、自死を思いとどまった子どもの言葉、漁師のなにげない言葉、音楽家が歌う自作の曲、介護士が綴る詩、協働で苦境にいる人たちへ寄り添うネットワークの存在、個人がはじめた署名、プロアマチュアのカメラマンの写真、映像作家の映画、記者の告発の書、人類学者の論考を通じて、かもしれない。

他の場所において状況が違って、支援する側とされる側という立場でなく、響き合う心を持つ人同士として、作品や人を通じて出会い、関わりながら、それがもっと広い変化につながる可能性がある。1 月 22 日、核兵器禁止条約が発効した。核保有国もカナダも日本も批准はしていないが、2021 年 1 月 23 日現在 52 カ国が批准している。世界各地で放射能汚染地域があり、被ばくの可能性のある日常を送る人がいる。核問題は、軍需産業から原発、権力と政治経済、医療等と繋がっている。何らかの間違いにより一瞬で日常＝生命を消滅させるものである。福島を福島だけの

原発と被ばくの問題として他と切り離すのではなく、昔の戦争と今の戦争を別に考えるのではなく、国で分けるのではなく、分断を拒んで、全てを包括し、誰もが生きることを否定されず、同時に他の生命やその源の自然を尊重し、調和し、共に生きていく豊かな社会を描けたらと願う。コロナ禍で再び人々が生死や喪失、社会、他者、未来、過去、感情や感覚、つながり、希望や空間といった物質以外のものについて思う機会をもち得たが、同じような考えに至った人もいる。

コロナ禍でオンラインの行事が多数企画されるようになった。インターネットがあればどこからでも参加可能だ。“Yosomono-Net/よそものネット-在外邦人と賛同者の脱原発ネットワーク”は、英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・カタロニア語字幕付“おしどりマコ・ケン講演”動画を公開する予定だ。東電記者会見や学会に出席し、現地を訪れ、人々と関わり、話して書いて、それが本業になりつつあると言ってよい二人から、テレビや新聞では得難い情報を知ることが出来るに違いない。3 月 9 日に以下のページにリンクが載る。

https://yosomononet.jimdofree.com/?fbclid=IwAR3_nDRqEFctwb-LqUeEDvOS1q56ZxblqcvlYzWvAY5wj5vQ5r3-0gwXqXg8

また今年の“原発のない福島を！県民大集会”はオンライン配信予定である。指標は“二度と福島の悲劇を繰り返さないように訴え、福島を忘れないように発信すること”。こちらは 3 月 21 日。テレビや新聞等でも 10 年ということで各特集があるようだが、独立した非営利メディア OurPlanet-TV(アワープラネット・ティービー)を紹介したい。マスメディアからこぼれ落ちた情報をすくいあげ、多様な情報が共有されるより良い社会への変革への使命と理念を持って取り組んでいる。他にも独立して発信、表現している団体や個人は多い。この機会にチェックしてみてもはどうだろう。



上: 堆積する除染にともなう除去土壌の袋
下: 福島駅の東京オリンピック標示

写真: 今野寿美雄
写真: 筆者

東京オリンピックと福島

モントリオール KIZUNA 代表 橋爪亮子

2020 年 2 月 13 日、東京五輪延期決定前 に福島県庁 で
の記者会見で「福島はオリンピックどごでねえ」、「これでいい
の?! 原発事故と復興五輪」の共同声明が原発事故被害者
団体連絡会と脱原発福島ネットワークにより公表された。その
時に以下の事故当時小学生のメッセージも発表された。1 年
前のだが 十分通じるので 許可を得て共有する。今年 3 月 25
日に福島県 J ヴィレッジより聖火リレーは出発予定だ。

メッセージ

福島から京都に避難指示区域外から避難をした当時小学生

私は 2011 年 3 月に発生した東京電力福島第一原子力発電
所事故の被害者であり避難者です。

避難当時、私は小学 5 年生でした。2011 年 4 月、私は突然
転校することになりました。原因は福島原発事故です。私が
住んでいた場所は、東京電力福島第一原子力発電所事故によ
り、それまでの 600 倍もの放射線量が計測されました。そのため、
母から「マスクをつけて登校しなさい」と言われたり、母が買い物
に出る際、「放射能が舞っているからあなたは家で留守番して
いなさい」と言われたり、さらには、友達と別れ、突然転校しなけ
ればならなかったことは、とても辛く悲しい出来事でした。

2013 年 9 月 7 日、安倍総理は、国際オリンピック委員会総
会でプレゼンテーションを行いました。

“Some may have concerns about Fukushima. Let me
assure you, the situation is under control.

It has never done and will never do any damage to Tokyo.”

邦文では次のようにアップされています。「福島について、
お案じの向きには、私から保証をいたします。状況は、統御さ
れています。東京には、いかなる悪影響にしろ、これまで及ぼ
したことはなく、今後とも、及ぼすことはありません」本当に、
「福島は状況は統御されている」のでしょうか？

たとえば昨年 1 月、東京電力福島第一原子力発電所で海側
にあるタンクにたまっていた放射性物質を含む水が 2 年余り前
からおよそ 300 トンが漏れ出していたことがわかりました。た
とえば昨年 1 月、福島県広野町沖の試験操業で漁獲したコモ
ンカスベから、国の基準値、1 キロ当たり 100 ベクレルを超える
161 ベクレルの放射性セシウムを検出したと発表されました。た
とえば昨年 10 月、大型台風により、東京電力福島第一原子力
発電所事故の除染廃棄物を袋に入れて保管する田村市や飯
舘村の仮置き場が浸水し、除染廃棄物が川に流出したと発表
されました。このような現状の中、五輪聖火リレールートの空間
放射線量が除染目安超えというニュースが流れました。沿道の
最高値は、飯舘村の毎時 0.77 マイクロ・シーベルト、車道の最
高値は、郡山市の 0.46 マイクロ・シーベルトで、少なくとも 13
ルートで除染目安超えの地点が見つかったのです。1 月 14 日
現在、いまだ約 4 万 8 千人以上が避難生活を余儀なくされて
います。また、避難者住宅からの追い出しや日本各地での賠
償裁判も継続中です。これらの事実を見れば、「福島は状況

は統御されているのか？」と疑問を持つのが自然です。オリ
ンピックのために日々努力をされている選手のみなさんはもとより、
すべての人が安心して心から楽しめるオリンピック、そして、東
日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故からの真
の復興を願ってやみません。

関連サイト

NPO 法人 3.11 甲状腺がん子ども基金

<https://www.311kikin.org/>

2021 原発のない福島を！県民大集会

<http://fukushima-kenmin311.jp/>

福島原発事故賠償訴訟一覧

<http://nuclearpowerplant311.livedoor.blog/archives/12143668.html>

OurPlanet-TV

<http://www.ourplanet-tv.org/>

2001 年設立非営利メディア／広告なし。日本ジャーナリスト会議「JCJ賞」、
やよりジャーナリスト賞特別賞、日本科学ジャーナリスト会議「科学ジャー
ナリスト大賞、東京弁護士会の「人権賞」(2020 年)等受賞
OSHIDORI Mako&Ken Portal / おしどりポータルサイト

<http://oshidori-makoken.com/>

東電の記者会見、現地報告、学会報告、ドイツ視察旅行等
被ばく労働を考えるネットワーク

<http://www.hibakurodo.net/>

311 全国受入協議会(通称:うけいれ全国):子ども保養

<http://www.311ukeire.net/>

「福島に戻る」は 2 割、帰還困難区域の元住民 関学調査(朝日、2020
年1月)

https://www.asahi.com/articles/ASNCW6D85NCTPTIL034.html?iref=pc_rellink_06

絶望のどん底から日本一の箏奏者へ。震災の先に見つけた新しい夢

<https://creators.yahoo.co.jp/mizushimanatsuko/0200033147>

福島の避難者を忘れていませんかー 原発事故の「なぜ」を問うため、母
は「映える」本を作った(まいどなニュース、2020 年 11 月 5 日)

https://maidonnews.jp/article/13899942?fbclid=IwAR3uk3UUjuCsuKLX4ULGXcnC28Axk-T5cxYgGj0vrg1z5TImpruck1D_G4c

KIZUNA メールバックナンバー

<http://kizunajapon.blog.fc2.com/>

ベルアージュ川柳

昨年は、コロナ禍で今までに経験したことが無いロックダウン等
で家に閉じ籠る日が多く、暗い気持ちになりがちでした。その様な
時に、日常の出来事等を違う角度で面白おかしく(五、七、五)で
表現して、メールで見せ合い皆んなで笑って楽しもうと始めた次
第です。 笑女(わらめ)

長電話手は痺れても口達者	笑女(わらめ)
選挙ナシうちは私が大統領	鞠鈴(まりりん)
ロックダウンひねもすのたりのたかな	痴婆(しるばあ)
夜目遠目マスク裡なるコロナ美女	亥子(いのこ)
巻尺をさっと伸ばして社会距離	姥桜(うばざくら)
「早よ書いて」コロナにやりたい離縁状	ボケ花(ぼけはな)
コロナよりアル中怖い禁足令	遊歩(ゆうほ)